

—園芸用土づくり肥料の紹介—

畑のカルシウム

(カルシウム28.5% - イオウ17.0%(分析例))

<期待される効果>

①収量アップ

バレイショ、その他イモ類、マメ類の増収が報告されている。



図1. バレイショの収量比較
(畑のカルシウム 千ラシより引用)

②カルシウム補給

カルシウム欠乏症の予防が期待できる作物例
キャベツ、ハクサイ、トマト、イチゴ、キュウリなど

③イオウ補給

イオウの補給効果が期待できる作物例
タマネギ、ダイコン、ネギ、ニンニクなど



作物の根張りが改善され、収量増加・品質向上につながる!

ストロングバランス

(アルカリ分35% - 苦土12% - マンガン0.2%他)

畑のカルシウムに苦土石灰と微量要素を入れたオールインワンの土づくり肥料

<POINT>

①トータルカルシウムの約1/3が水溶性カルシウム

水溶性カルシウムはタンカルなどに含まれるカルシウムに比べて100倍溶けやすい。

②微量要素を含む

ミネラル全体を底上げし、総合的に土壌を整える。

③土壌の酸性改良ができる



図2. H26施肥防除合理化展示圃場試験
ネギ圃場(秋田市雄和)



根張りを良くするカルシウムや作物の生育に必要な微量要素が配合されているので、様々な作物におすすめ!

お問合せは 生産資材部 肥料農薬推進課 018-880-1624 へ

